



第 2 0 号

発行所 大阪市史跡 龍溪禅師墓所
 靈 亀 山 九 島 禅 院
 〒550 大阪市西区本田3丁目4-18
 TEL 06(583)2725 FAX 06(583)0908
 発行人 住 職 奥 田 啓 知 (智 證)

横山やすしさん死去

戒は身をたすける

稀代の漫才師「横山やすし」さんが死去しました。死因はアルコール性肝硬変でした。天才漫才師の名を欲しいままにし、「やす・きよ」漫才の復活を果たせず鬼籍に入ってしまった。

やすしさんは、「破滅型の最後の芸人」とも言われ、酒にまつわる数々の騒動を巻き起こしました。

追悼番組のなかで長男木村一八さんが、「毒舌なやんちゃなやっさんを演じる父には酒が必要だった」と述べていましたが、必要で飲んだ酒にいつしか溺れ事件に巻き込まれ脳挫傷の重症を負い、再起を果たせず寂しい死でした。

仏教では、酒は不飲酒戒といつて、五戒の一つに数えています。五戒とは、仏教徒が守るべき戒めですが、

- 一 不殺生戒（殺すな）
- 二 不偷盜戒（盗むな）
- 三 不妄語戒（嘘つくな）
- 四 不邪淫戒（淫らなセックスをするな）

五 不飲酒戒（酒を飲むな）
 この五つを戒めとしています。よく見てみると、これらは守れそうにないことが判ります。人は生き物を殺さずには生きていけません。ガン患者に対して真実を隠すこともありま。

守れないような戒を作ったのでしょうか。極端な言い方をすると「破るために戒めがある」のです。私たち凡夫は、戒めを完全に守ることはできません。どうしても破戒せざるを得ません。破戒はやむを得ないので、だから、破戒をせざるを得ない自分を反省するのです。仏教では、その反省を「懺悔（さんげ）」と言います。懺悔文の中に

我昔所造諸悪業
 皆由無始貪瞋痴
 從身口意之所生
 一切我今皆懺悔
 「私たちが昔から造った様々な悪い行いは、すべて始めのない遠い過去からの貪（むさぼり）瞋（いかり）痴（おろかさ）から生じています。そのため身体と言葉と心から生じるすべての



伝説の漫才「やす・きよ」、文句なし、能書きなしにおもろかった＝1977年、ナンバ花月

行為を、私たちは、今懺悔（さんげ）します」
 この懺悔です。自分の犯した罪を反省し、仏の御前にそれを告白して赦しを乞うのです。私たちがそのような懺悔をするために戒めがあるのだと思います。戒めを破り懺悔せざるを得ない自分、まわりに迷惑をかける、自ら懺悔し、まわりの人や生き物に感謝するのです。

「酒は飲んでも、飲まれてはいけない」とは、よく言われることですが、この不飲酒戒の精神、懺悔し感謝しながらお酒を飲んでおれば、やっさんも、あれほど望んでいた「やす・きよ漫才」の復活を果たせたのではないかと残念に思えてなりません。しかし、そんなやっさんだからこそ、きよさんで誠実な芸風のきよしさんとの絶妙のコンビができたのでは。破滅型の芸人の宿命かも知れません。天才漫才師横山やすしさんのご冥福をお祈りいたします。

阪神淡路大震災により亡くなられた方々に対し、謹んで哀悼の意を表しますとともに

